

くじらぐも

ながわ りえこ
中川 李枝子

じかんめ
4時間目のことです。

ねんくみ こども たいそう そら おお
1年2組の子供たちが体操をしていると、空に大きなくじらがあらわれました。

ましろくも
真っ白い雲のくじらです。

いち に さん し
「一、二、三、四」

たいそう はじ の ちぢ しんこきゅう
くじらも体操を始めました。伸びたり縮んだりして、深呼吸もしました。

あし うんどうじょう まわ くも そら まわ
みんながかけ足で運動場を回ると、雲のくじらも空を回りました。

せんせい ふえ ふ と と
先生が笛を吹いて、止まれのあいずをするとかじらも止まりました。

まわ みぎ
「回れ右。」

せんせい そら まわ みぎ
先生がごうれいをかけるとくじらも空で回れ右をしました。

「あのくじらはきっと学校が好きなんだね。」

みんなは大きな声で、

「おうい」と呼びました。

「おうい。」とかじらも答えました。

「ここへおいでよう。」みんながさそうと

「ここへおいでよう。」と、くじらもさそいました。

「よしきた。雲のくじらに跳び乗ろう。」

おとこ こ おんな こ
男の子も女の子もはりきりました。

みんなは手をつないで、丸い輪になると、

てん ちま で と ど け いち に さん
「天までとどけ、一、二、三。」

でも、跳んだのは、やっと三十センチぐらいです。

「もっと高く。もっと高く。」とかじらが応援しました。

てん ちま で と ど け いち に さん
「天までとどけ、一、二、三。」

こんどは五十センチぐらい跳べました。

「もっと高く。もっと高く。」とかじらが応援しました。

てん ちま で と ど け いち に さん
「天までとどけ、一、二、三。」

そのときです。いきなり、風がみんなを空へ吹き飛ばしました。

そして、あっという間に先生と子供たちは手をつないだまま雲のくじらに乗っていました。

「さあ、泳ぐぞ。」

くじらは青い青い空の中を元気いっぱい進んでいきました。

海のほうへ、村のほうへ、町のほうへ。

みんなは歌を歌いました。

空はどこまでも、どこまでも続きます。

「おや、もうお昼だ。先生が腕時計を見ておどろくと、

「では、帰ろう。」と雲のくじらは回れ右をしました。

しばらく行くと学校の屋根が見えてきました。

くじらぐもはジャングルジムの上にみんなを下ろしました。

「さようなら。」

みんなが手を振ったとき、4時間目の終わりのチャイムが鳴り出しました。

「さようなら。」

雲のくじらはまた元気よく青い空の中へ帰って行きました。